

エンジニアリング業の動向

(特定サービス産業動態統計速報(2022年12月))

〈 2022年12月速報の動向 〉

当月の受注高は、769,814百万円で前年同月比▲1.4%と2ヶ月ぶりの減少となりました。

・増加に寄与した業務種類 (寄与度順)

化学プラントは、102,810百万円で同+68.5%と3ヶ月連続の増加

鉄鋼構造物は、36,299百万円で同+670.7%と2ヶ月連続の増加

その他は、83,745百万円で同+23.4%と2ヶ月ぶりの増加

通信プラントシステムは、52,424百万円で同+24.7%と6ヶ月連続の増加

製鉄プラントは、28,474百万円で同+47.7%と5ヶ月連続の増加

都市・地域開発システムは、47,277百万円で同+17.2%と3ヶ月連続の増加

・減少に寄与したプラント・施設 (寄与度順)

電力プラントシステムは、239,428百万円で同▲26.4%と2ヶ月ぶりの減少

貯蔵・輸送システムは、11,512百万円で同▲67.6%と2ヶ月連続の減少

その他産業プラントは、84,360百万円で同▲12.7%と11ヶ月ぶりの減少

環境衛生システムは、83,485百万円で同▲5.1%と2ヶ月ぶりの減少

受注高を国内、国外別にみると、

・国内向けは、647,697百万円で前年同月比+0.5%と2ヶ月連続の増加となりました。

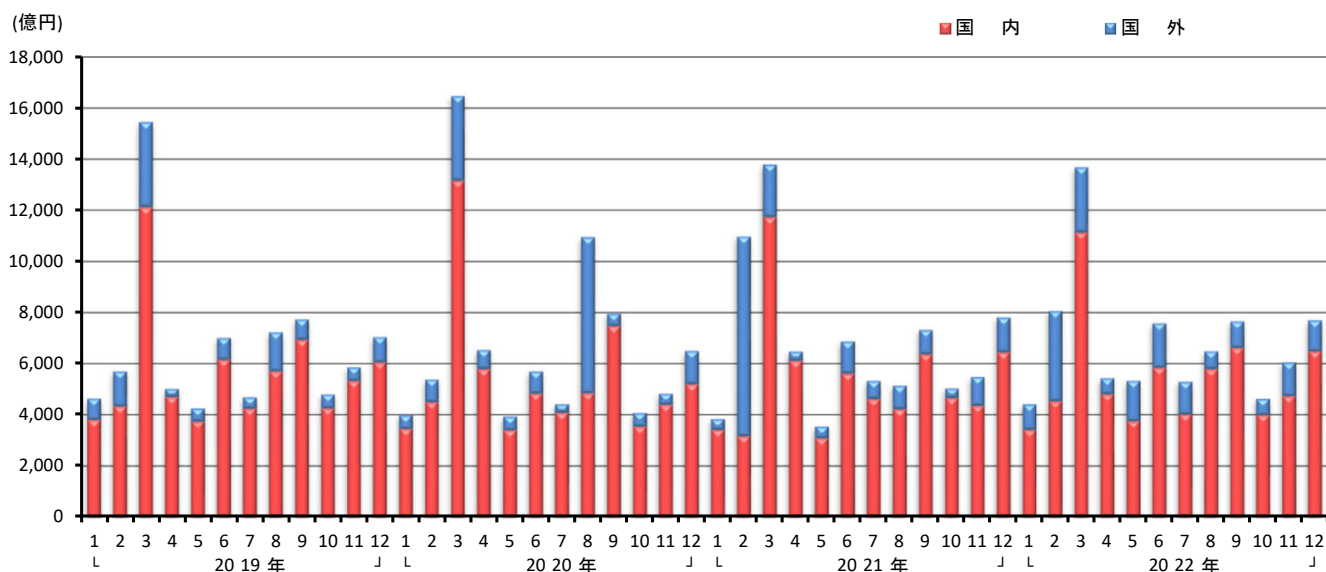
国内向けの増加に寄与したプラント・施設は、鉄鋼構造物、その他など

・国外向けは、122,117百万円で前年同月比▲10.3%と4ヶ月ぶりの減少となりました。

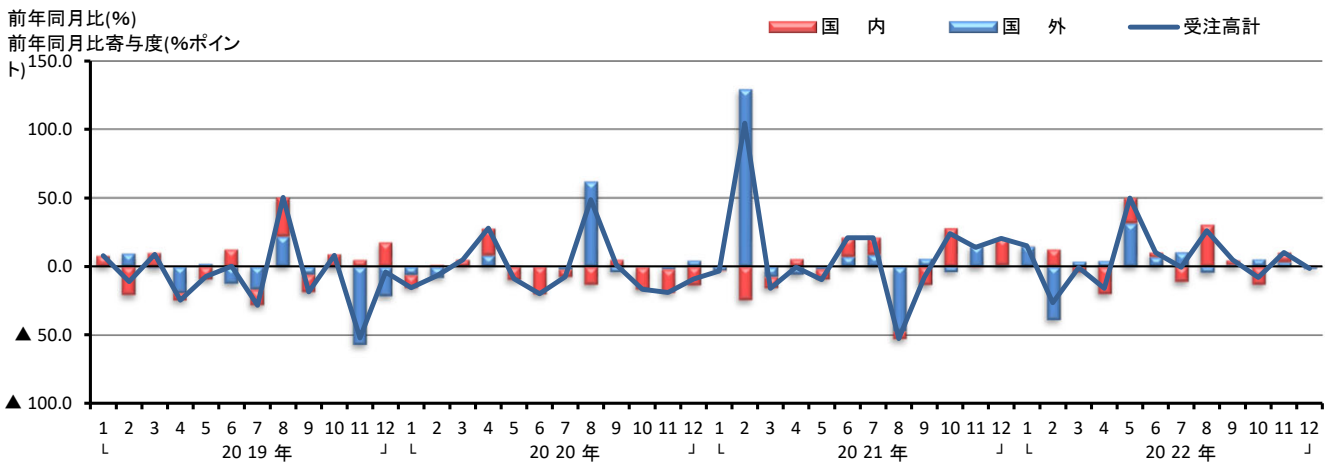
国外向けの減少に寄与したプラント・施設は、貯蔵・輸送システム、電力プラントシステムなど

・当月の内外比率は、国内向け84.1%(82.6%)、国外向け15.9%(17.4%)でした。(カッコ内は、前年同月値)

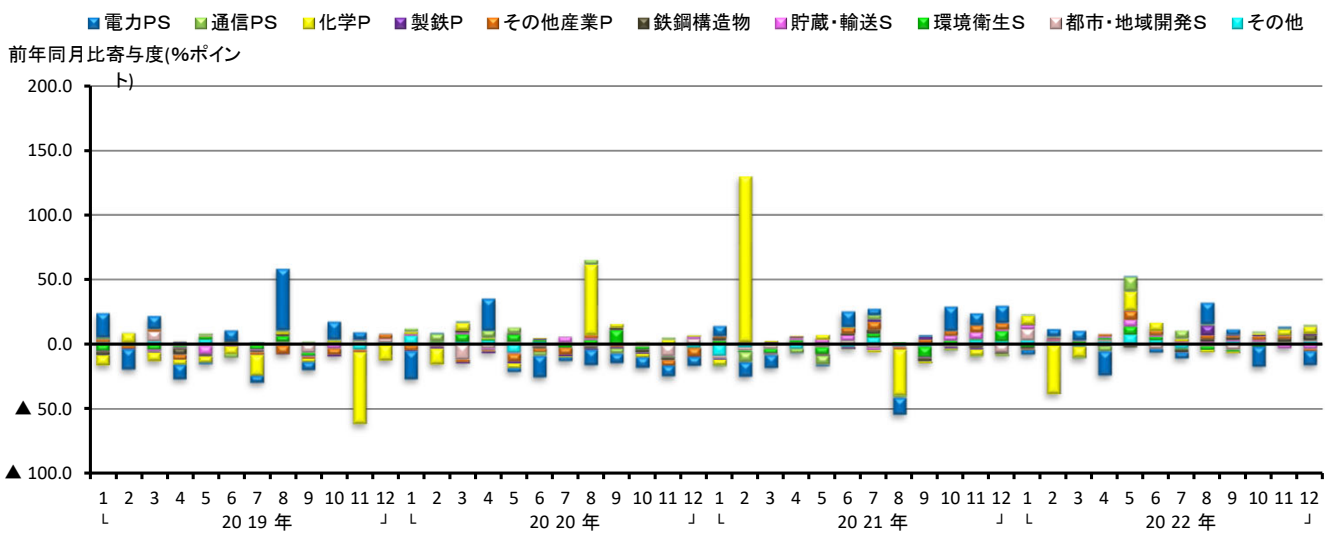
エンジニアリング業の国内、国外別受注高の推移



エンジニアリング業の受注高前年同月比と国内、国外別寄与度の推移



エンジニアリング業受注高前年同月比のプラント・施設別寄与度の推移



注1：受注高(実数)は、調査対象の追加等により不連続が生じている期間があります。

注2：前年同月比は、リンク係数により連続性を確保した「係数処理済実数」で算出しています。

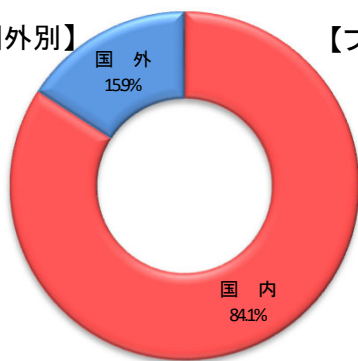
※ 不連続の期間及びリンク係数については、《 調査の結果 ▶ リンク係数 》をご覧ください。

エンジニアリング業の当月受注高の構成比

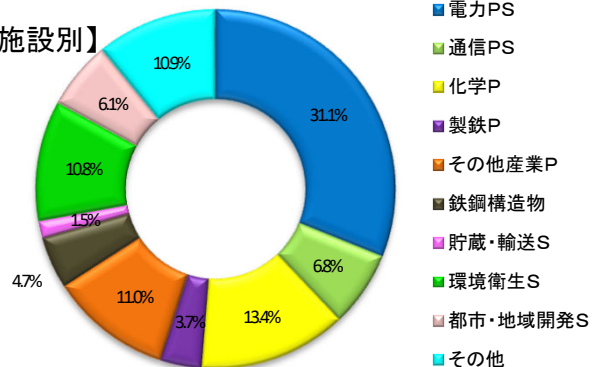
2022年12月の受注高

769,814 百万円

【国内・国外別】



【プラント・施設別】



この調査における『プラント・施設別』の定義等につきましては、以下をご参照ください。

○ 経済産業省ホームページ ▶ 統計 ▶ 特定サービス産業動態統計調査 ▶ 調査の概要 ▶ 調査票・記入注意 <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/tokusabido/gaiyo.html#menu07>

また、この調査に関するお問い合わせ先は、以下のとおりです。

○ 経済産業省 大臣官房調査統計グループ サービス動態統計室 サービス産業動態統計班
TEL 03-3501-1511 (内線) 2885~2887